【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成31年4月11日(2019.4.11)

【公開番号】特開2019-30791(P2019-30791A)
【公開日】平成31年2月28日(2019.2.28)
【年通号数】公開・登録公報2019-008
【出願番号】特願2018-226890(P2018-226890)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３２０
Ａ６３Ｆ　7/02　３０４Ｄ

【手続補正書】
【提出日】平成31年2月5日(2019.2.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
遊技領域が形成された遊技盤を保持可能な本体枠と、
前記本体枠に対し開閉自在に設けられる前面枠と、
前記前面枠に設けられる枠側構成部材と、
前記前面枠に設けられ、前記枠側構成部材に対応して設けられる枠側部材駆動源と、
前記枠側部材駆動源を駆動させる演出実行手段と、
前記遊技領域に設けられた始動口へ遊技球の入賞を契機に乱数情報を取得する乱数情報取得手段と、
前記乱数情報取得手段で取得された乱数情報を記憶する乱数記憶手段と、
前記乱数記憶手段に記憶された乱数情報に基づいて変動表示を実行可能な変動表示実行手段と、
前記変動表示実行手段により実行される変動表示の表示結果として特別の表示結果が表示された場合に、通常の遊技状態よりも遊技者に有利な特別遊技状態に制御可能な遊技状態制御手段と、
前記乱数記憶手段に記憶される乱数情報を用いて前記変動表示実行手段によって特定の変動表示が実行されるかを事前に判定可能な先行判定手段と、を備え、
前記演出実行手段は、
前記先行判定手段により前記特定の変動表示が実行されると判定された場合に、前記特定の変動表示よりも以前に実行される変動表示において前記枠側構成部材に対応する前記枠側部材駆動源を第１期間に亘って駆動させる先行駆動演出と、
前記先行駆動演出が実行された変動表示の次の変動表示である前記特定の変動表示の実行中において、前記枠側構成部材に対応する前記枠側部材駆動源が前記第１期間よりも長い第２期間に亘って駆動される前記先行駆動演出と異なる特定駆動演出と、を実行可能であり、
前記枠側構成部材に対応する前記枠側部材駆動源が前記第２期間に亘って駆動される前記特定駆動演出が実行されると視認不能であった前記枠側構成部材の特定部位が視認可能となる
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
上記課題を解決するために、本発明の遊技機は、
遊技領域が形成された遊技盤を保持可能な本体枠と、
前記本体枠に対し開閉自在に設けられる前面枠と、
前記前面枠に設けられる枠側構成部材と、
前記前面枠に設けられ、前記枠側構成部材に対応して設けられる枠側部材駆動源と、
前記枠側部材駆動源を駆動させる演出実行手段と、
前記遊技領域に設けられた始動口へ遊技球の入賞を契機に乱数情報を取得する乱数情報取得手段と、
前記乱数情報取得手段で取得された乱数情報を記憶する乱数記憶手段と、
前記乱数記憶手段に記憶された乱数情報に基づいて変動表示を実行可能な変動表示実行手段と、
前記変動表示実行手段により実行される変動表示の表示結果として特別の表示結果が表示された場合に、通常の遊技状態よりも遊技者に有利な特別遊技状態に制御可能な遊技状態制御手段と、
前記乱数記憶手段に記憶される乱数情報を用いて前記変動表示実行手段によって特定の変動表示が実行されるかを事前に判定可能な先行判定手段と、を備え、
前記演出実行手段は、
前記先行判定手段により前記特定の変動表示が実行されると判定された場合に、前記特定の変動表示よりも以前に実行される変動表示において前記枠側構成部材に対応する前記枠側部材駆動源を第１期間に亘って駆動させる先行駆動演出と、
前記先行駆動演出が実行された変動表示の次の変動表示である前記特定の変動表示の実行中において、前記枠側構成部材に対応する前記枠側部材駆動源が前記第１期間よりも長い第２期間に亘って駆動される前記先行駆動演出と異なる特定駆動演出と、を実行可能であり、
前記枠側構成部材に対応する前記枠側部材駆動源が前記第２期間に亘って駆動される前記特定駆動演出が実行されると視認不能であった前記枠側構成部材の特定部位が視認可能となることを特徴とする。